



SENSHOJI
YUKARI NEWSLETTER
1994-2026

ゆかり通信
VOL.338
令和 8 年 3 月

北海道千歳市清水町1-14 鶴竈山 千正寺
TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883
ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2026年千正寺カレンダー 3月の言葉



「面授」とは辞書に、師匠が弟子に対して、直接対面して教えを授けることとあります。

仏教の教えは、お釈迦様のお言葉を「お経」に残し、その「お経」がインドからシルクロードを通り中国、朝鮮に伝わり、そして日本にやってきました。ですのでその「お経」を学べば仏教を学ぶことは出来ます。しかし仏教の教えは、その時代時代に仏教の教えを敬い喜ぶ方々の出会いとつながりによって伝わっていることを「面授」という言葉は教えてくれます。人と人の対面によって仏教の教えは伝わるということです。

私が現に僧侶として仏道を歩ませて頂いていることも、多くの方との出会い、お育てによるものです。その中で特にお世話になった2人の尊敬する先輩がいます。1人は隣町倶知安のご住職。もう1人は長沼の前坊守さんです。

倶知安のご住職には、私が若い頃から仏教の道に導いて下さいました。中学生の時には京都のご本山の旅行の引率をして下さり、高校・大学の時には仏教青年部の活動に誘って下さり、お陰で抵抗なく仏教にふれあうことが出来ました。大学を卒業してからは青年僧侶の活動にも誘って下さり、それによって多くの僧侶仲間が出来ました。妻との出会いも倶知安のご住職が園長をしている幼稚園の保母さんをしていたことがご縁になりました。なので倶知安町には足を向けて寝られません。

長沼の前坊守さんには、子ども達に仏教の教えを伝える日曜学校をしている少年連盟という活動団体で20代から20年近くご指導頂きました。仏教伝道の志が熱く行動力もあり、全国の宗門少年連盟の理事長にもなった方です。2人の偉大な先輩と一緒に活動をさせて頂き、その後ろ姿に憧れ多くのことを学ばせて頂いたことが私の僧侶人生の糧になっています。

不思議なことにご縁は繋がるもので、倶知安のご住職のお孫さんがこの春から、息子がいた高校野球部に入るそうで、また長沼の前坊守のお孫さんとウチの息子は、昨年京都の宗門大学に通っており学部も一緒に、前坊守さんと私が知り合いだとは知らなかった中で、2人は仲良くなり親友のような付き合いをさせてもらっていることは、とても驚きでした。この2人が昨年秋には、ご本山と一緒にご参りに行ったそうで、やはり「人と人のつながり」の中で仏教の教えは伝わっていくのだなあと感じたことです。

(本文：鹿谷賢純法務員)